

平成26年度授業シラバスの詳細内容

科目名(英)	経営学入門(Guide to Business Administration)		授業コード	E012151
担当教員名	橋本 堅次郎		科目ナンバリングコード	E10102
配当学年	1	開講期	後期	
必修・選択区分	必修	単位数	2	
履修上の注意または履修条件				
受講心得	考える力をしっかりと養うとともに、専門知識の習得をするつもりで授業に出席してください。目と耳の集中力を高め、情報を整理しながら受講してください。考えると考え抜くは違うことを理解・実践する			
教科書	なし			
参考文献及び指定図書	経営学のことが面白いほどわかる本(笠原英一、中経出版)、1からの経営学(加護野忠男、吉村典久、中央経済出版)、はじめの一步経営学(守屋貴司、近藤宏一、小沢道紀、ミネルヴァ出版)			
関連科目	ビジネス実務総論、流通経営論、マーケティング関連科目、起業学			

授業の目的	経営学とは「世の中の変化に対応し、組織を通して成果を出すことである」という点について、大きく①世の中の変化 ②戦略 ③組織 ④人(リーダーシップ) ⑤組織文化に分けて授業を進め、経営学の全体像を理解してもらうことを目的としています。また経営者の人間性にも触れることで学生諸君の人間性を養うことも目的としています。
授業の概要	経営の全体像はもちろん、経営者など過去・現在の著名人の名言も交え経営の知識だけでなく、経営者の持つ人間性についても学んでいきます。講義は①前回の復習 ②今日の名言 ③授業テーマと資料 ④DVDや画像の紹介 ⑤振り返りレポートの作成という内容で進めます。一方的な講義にならないようにできる限り質問を交えながら授業を進め、学生諸君が自ら考える内容にしていきます。

○授業計画	
学修内容	学修課題(予習・復習)
第1週：オリエンテーション 講義の目的と概要説明大学で学ぶことの意義。また経営学とは何か、経営学は何の役に立つのかについて考えます。世の中に変化をつかんで業績を上げる企業の事例を紹介します。	
第2週：世の中の変化と顧客価値 お客様にとっての経営の価値とは何か、経営者はどのようにして価値を生み出そうとしているか。衣料品やDIYの事例を交えて講義をします。	
第3週：儲けることが経営か？ 経営とは儲けることか？経営の持続性や社会との関わりについて考えます。老舗企業の紹介や不正の紹介を行い経営と儲けることについて事例を交えながら講義を進めます。	
第4週：失敗と経営者 経営者の失敗事例から世の中への変化への対応について学びます。また世の中の変化とは具体的にどのようなことを言うのか。外部環境の枠組みについて学びます。	
第5週：企業の戦略① 外部環境の変化に対応し企業はどのような戦略を選択するのか？学生にとって身近なアミューズメント業界やファストフード業界を取り上げ「市場の地位戦略」について学びます。	
第6週：企業の戦略② マイケル・E・ポーターの競争の戦略を取り上げます。3つの基本戦略を学びながら、具体的に企業がどのような戦略をとっているか。飲食業界を事例に取り上げます。	
第7週：企業の戦略③ 引き続き競争の戦略について学びます。前回とは異なる戦略をとる企業を紹介しながら市場環境と戦略の選択について考えます。またコンビニを取り上げ戦略事例を紹介します。	
第8週：事業の定義	

<p>企業にとって自社の事業の定義をどのようにするかは成長におおきく関係します。ファストフード業界の事例を取り上げ、定義によって顧客の選択が異なることを事例を通して学びます。</p>		
<p>第9週：戦略と組織 変化に対応して戦略を実行するためには組織が必要です。組織を使って成果を出すためにはどうするか？組織が成果を出すには具体的にどのようにしたら良いか学びます。</p>		
<p>第10週：危機への対応 企業活動において危機はつきものです。企業不祥事の事例を紹介しながら危機への対応について学びます。CSR、コーポレート・ガバナンス、コンプライアンスについても学びます。</p>		
<p>第11週：組織と人① 組織を動かすのは人です。組織のリーダーについて考えます。リーダーとは何か、リーダーシップを発揮するにはなにが必要とされるのか？具体的な事例をあげながら授業を進めます。</p>		
<p>第12週：組織と人② 前回のリーダーシップの発揮を発展させ、どのように具体的に行動することが組織を動かすことにつながるのかについて学びます。経営の全体像と組織と人を動かすことについて学びます</p>		
<p>第13週：組織文化と経営 経営全体に大きく影響を及ぼすのが「組織文化」です。組織文化とは何で、どのような組織文化があるのか？組織文化の類型を学び身近に当てはめて組織文化を考えます。</p>		
<p>第14週：経営学は何の役に立つのか 前回に引き続き、経営学を実社会でどのように役立てていくのか。事例をまじえながら紹介します。世の中の変化から戦略・組織・人を活かすまでを学びます。</p>		
<p>第15週： まとめ</p>		
<p>第16週：期末試験 授業で配布したプリントのみ持ち込み可。</p>		
授業の運営方法	(1) 授業の形式	「講義形式」
	(2) 複数担当の場合の方式	
	(3) アクティブ・ラーニング	
備考		

○単位を修得するために達成すべき到達目標	
【関心・意欲・態度】	経営について関心を高める。起業にも関心を持つ。
【知識・理解】	経営全般の基本知識を習得し、理解を深める。また日々変化するサービス産業への知識を深める。
【技能・表現・コミュニケーション】	毎回のレポートを通して、授業で得た識見を文字で表現することを学ぶ。さらに他の学生のレポート内容を知ることで識見の幅を広める。
【思考・判断・創造】	全15回の授業で経営への情報を蓄積し、現在起こっている経営上の諸問題について思考・判断ができるようになること。自分自身の考えを創造することができるレベルを目指す。

○成績評価基準(合計100点)			合計欄	100点
到達目標の各観点と成績評価方法の関係および配点	期末試験・中間確認等(テスト)	レポート・作品等(提出物)	発表・その他(無形成果)	
【関心・意欲・態度】 ※「学修に取り組む姿勢・意欲」を含む。	10点	10点		
【知識・理解】 ※「専門能力<知識の獲得>」を含む。	20点	10点		
【技能・表現・コミュニケーション】 ※「専門能力<知識の活用>」「チームで働く力」「前に踏み出す力」を含む。	10点			
【思考・判断・創造】 ※「考え抜く力」を含む。	30点	10点		
(「人間力」について) ※以上の観点到、「こころの力」(自己の能力を最大限に発揮するとともに、「自分自身」「他者」「自然」「文化」等との望ましい関係を築き、人格の向上を目指す能力)と「職業能力」(職業観、読解力、論理的思考、表現能力など、産業界の一員となり地域・社会に貢献するために必要な能力)を加えた能力が「人間力」です。				

○配点の明確でない成績評価方法における評価の実施方法と達成水準の目安	
成績評価方法	評価の実施方法と達成水準の目安
レポート・作品等(提出物)	
発表・その他(無形成果)	